

平成30年2月定例会運営日割(案)

月 日	曜	時 間	会 議 名	備 考
2月 15日	木	9:30	議会運営委員会	平成29年度議案等上程説明聴取 平成30年度予算等上程 市長大綱説明・条例等説明
		10:00	本 会 議	
16日	金			休 会 (議案等質疑通告正午まで)
17日	土			休 会
18日	日			休 会
19日	月	9:30	議会運営委員会	議案等質疑 一部議決 委員会付託 平成30年度予算等特別委員会委員 氏名報告(正午まで)
		10:00	本 会 議	
20日	火	9:30	建設経済常任委員会	
21日	水	9:30	厚生環境常任委員会	
22日	木	9:30	子ども文教常任委員会	
23日	金	9:30	総務常任委員会	
24日	土			休 会
25日	日			休 会
26日	月	9:30	補正予算常任委員会	
27日	火	9:30	議会運営委員会	
		議会運営委員会 終了後	広報広聴委員会	
		広報広聴委員会 終了後	議会改革検討会	
28日	水			休 会
3月 1日	木	9:30	議会運営委員会	常任委員会等報告・議決 代表質問
		10:00	本 会 議	
2日	金	13:00	議会運営委員会	代表質問 (市立看護専門学校卒業式)
		13:30	本 会 議	
3日	土			休 会
4日	日			休 会
5日	月	9:30	議会運営委員会	代表質問 平成30年度予算等特別委員会 設置・付託
		10:00	本 会 議	
		本会議終了後	予算等特別委員会	
6日	火	9:30	予算等特別委員会	
7日	水	9:30	予算等特別委員会	
8日	木	13:30	予算等特別委員会	(白浜養護学校高等部卒業式)

9日	金	13:30	予算等特別委員会	(中学校卒業式)
10日	土			休 会
11日	日			休 会
12日	月	9:30	予算等特別委員会	
13日	火	9:30	予算等特別委員会	
14日	水	9:30	予算等特別委員会	
15日	木	13:30	予算等特別委員会	(白浜養護学校小・中学部卒業式)
16日	金	13:30	予算等特別委員会	(小学校卒業式)
17日	土			休 会
18日	日			休 会
19日	月			休 会
20日	火	9:30	議会運営委員会	平成30年度予算等特別委員会 報告・議決 追加議案上程説明・議決
		10:00	本 会 議	
		本会議終了後	広報広聴委員会	

会

期

2月15日～ 3月20日

34日間

教育委員会 4 月定例会
教育長報告（1）

子ども文教常任委員会日程

日時 平成30年2月22日（木）

午前9時30分

場所 第1議会委員会室

- 1 陳情29第29号 家庭教育支援法の制定を求める意見書提出に関する陳情
- 2 陳情29第31号 はばたき児童クラブ 平成30年度入所定員超過解消に向けた緊急処置の陳情
- 3 報 告（1） 藤沢市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し等について
 - （2） 鵜南小学校等再整備に係る基本構想（案）について
 - （3） 六会中学校屋内運動場改築事業に係る基本設計（案）について
 - （4） 村岡公民館再整備の取組状況について
 - （5） 藤沢市文化芸術振興計画の策定について
 - （6） 藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムの策定について
 - （7） 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「藤沢市大会関連ボランティア等実施計画」（案）について

鵜南小学校等再整備に係る基本構想(案)について

鵜南小学校等再整備に係る基本構想策定作業は、9月及び12月市議会定例会子ども文教常任委員会において、これまでの取組状況や再整備に係る基本コンセプト、施設の配置計画(案)等の検討結果について中間報告をしております。その後においても本年1月までの委託期間のなかで保護者、教職員等、地域住民に対し情報提供と意見集約を継続的に行い、これらの意見等を反映させながらコンサルタントの知見に基づく検討を進めてきました。

この結果、基本構想(案)がまとまりましたので、その概要について報告するものです。

鵜南小学校等再整備基本構想の概要

1 これまでの取り組み状況について

- ・今年度は、学校や保育園、児童クラブの保護者や職員、地域住民のみなさまのご意見をいただきながら基本構想(再整備のコンセプトや施設配置など)を検討してまいりました。

◆鵜南小学校、浜見保育園保護者への説明、意見交換

- ・検討状況の説明と意見交換を継続的に行っています。また、10月29日(日)中間説明会、1月28日(日)に説明会を開催しています。

◆鵜南小学校、浜見保育園職員への説明、意見交換

- ・月に1回程度検討会を開催し、随時意見等を反映させながら継続的な検討を行っています。

◆地域住民への説明、意見交換

- ・鵜沼地区郷土づくり推進会議、町内会自治会連合会、隣接住民のみなさまに、検討状況の情報提供と意見交換を行うとともに、検討状況をお知らせする回覧を実施しています。また、保護者と合同で説明会を開催しています。

◆市議会への報告

- ・平成29年9月、12月に検討状況を市議会(子ども文教常任委員会)に中間報告し、平成30年2月に結果報告いたします。

2 再整備の基本コンセプトについて

- ・施設が抱える現状の課題や環境条件等を踏まえ、再整備の基本コンセプトを次のように設定しています。

① 子どもたちの安全・安心が保たれた施設とする

② 津波発生時の避難場所として安全・確実に避難できる施設とする

③ 子どもたちが健康で快適に過ごすことのできる施設とする

④ 保小連携や地域連携が行いやすい施設とする

⑤ 周辺住宅等の居住環境に配慮した施設とする

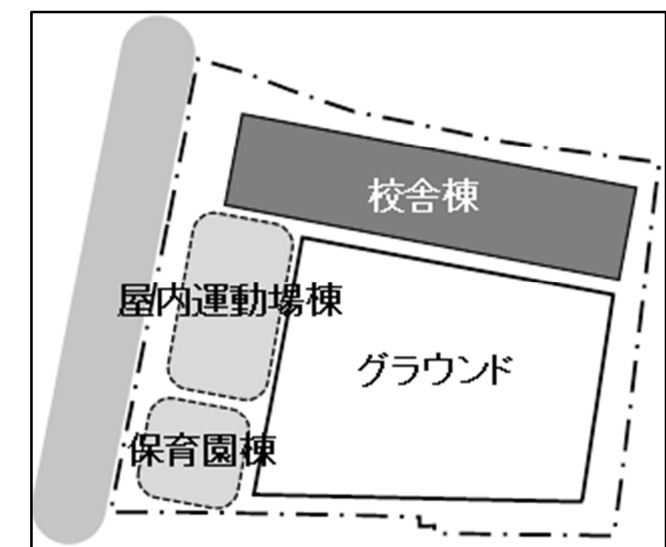
⑥ 長期にわたり機能性を確保できる長寿命な施設とする

⑦ 整備コストの低減や工期の縮減にも配慮した施設とする

3 配置計画(案)

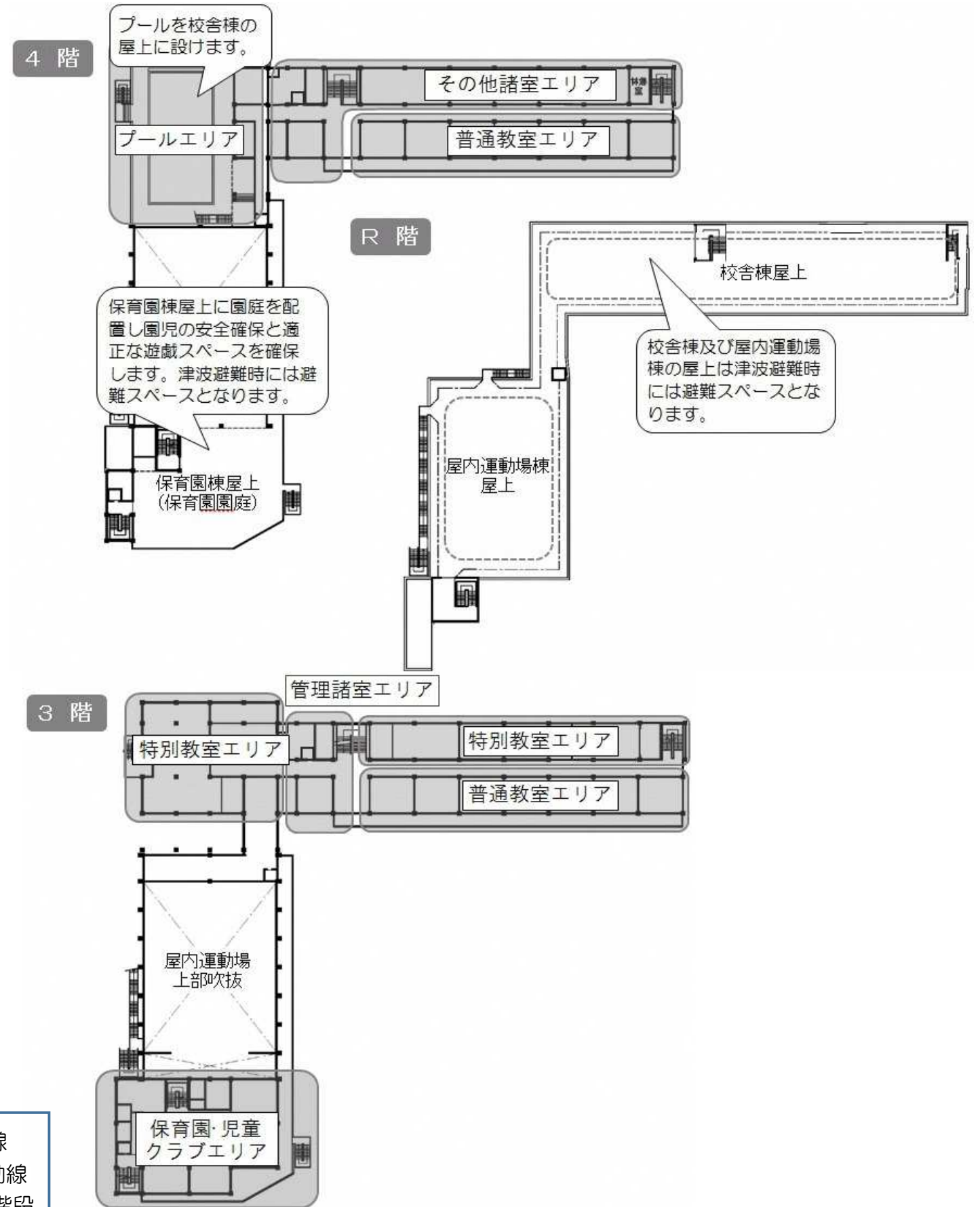
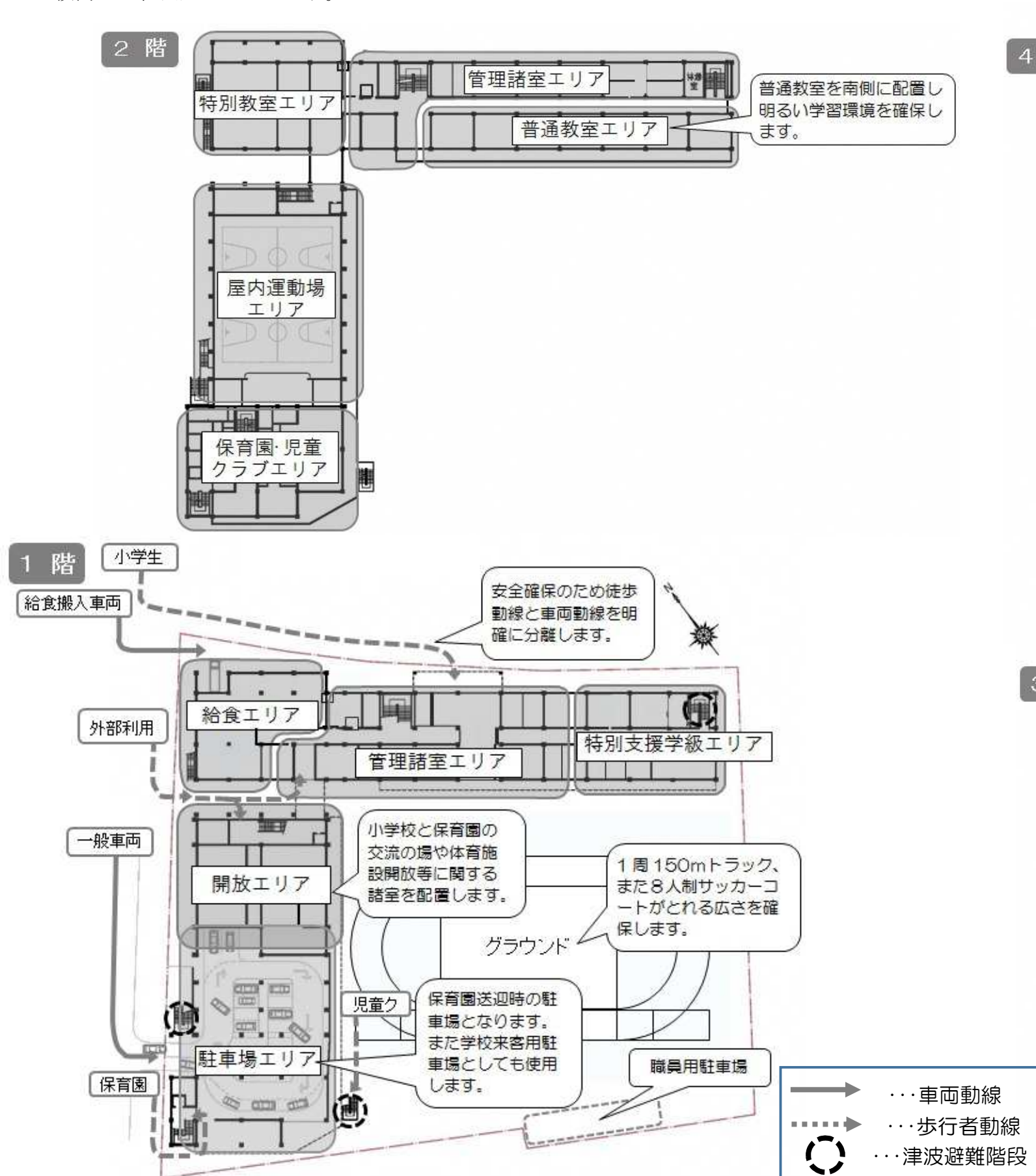
- ・校舎棟の配置案は3つの基本パターンがあり、比較検討の結果、適切な学習環境及び快適な生活環境が確保できること、周辺住宅への影響が少ないこと、3つの機能(小学校・保育園・児童クラブ)の動線区分が明確であること、などの観点から、校舎棟を敷地の北側(現在位置)に、屋内運動場棟を敷地の西側に配置する案を基本構想における配置(案)といたしました。

《基本構想配置(案)》



4 配置平面計画（案）

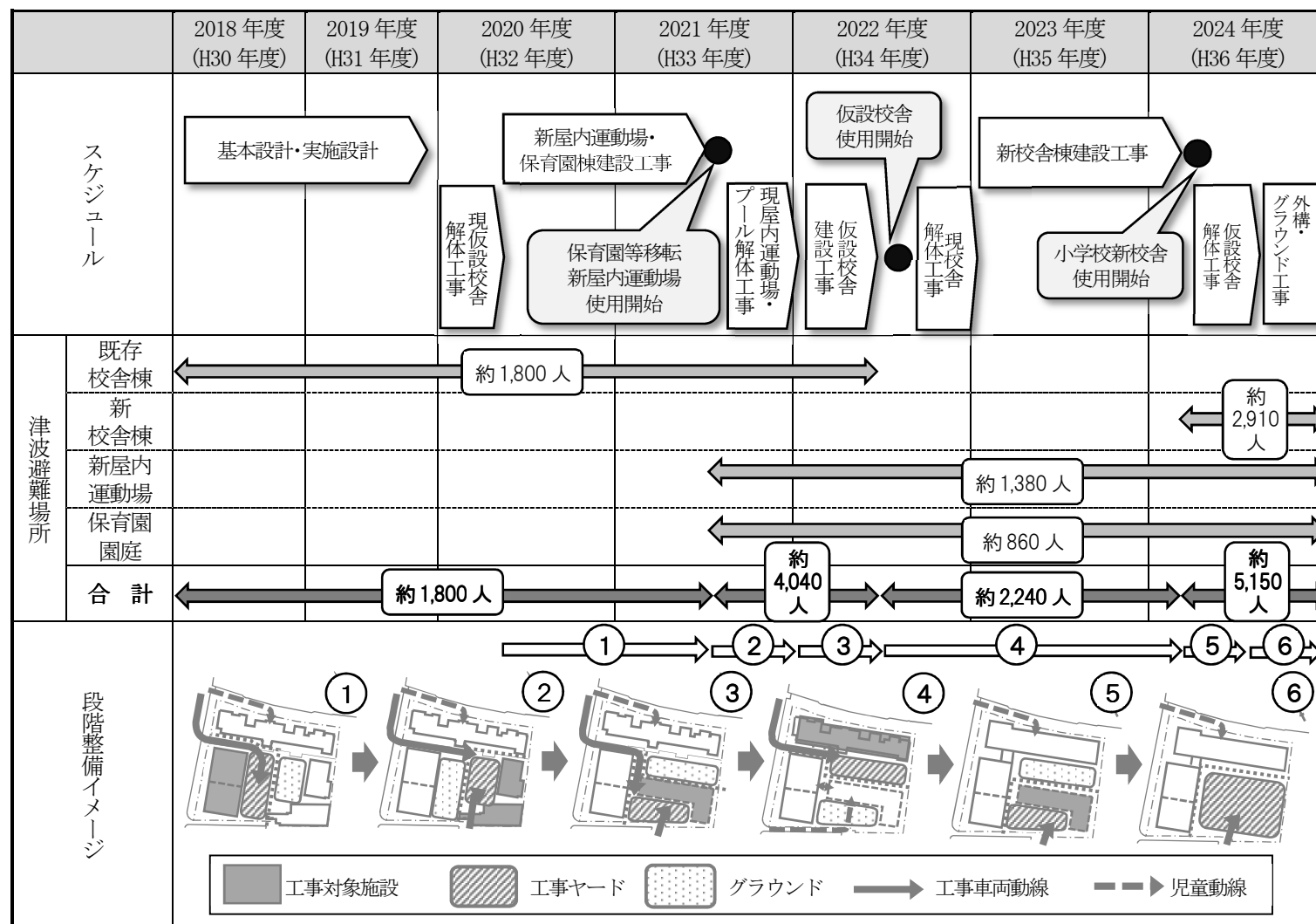
・先の基本構想配置（案）に基づく配置平面計画（案）を検討しています。なお、諸室の配置など、詳細のプランについては、来年度以降に実施予定の設計業務において、関係者と協議、検討の上、決定していきます。



5 事業スケジュールと工事エリアについて

- ・先の配置平面計画（案）に基づく事業スケジュールとしては、一時的に仮設校舎を建てて現校舎棟を解体し、新たな校舎棟を建てる必要があることから、新屋内運動場・保育園の完成が2021年度、小学校の新校舎の完成が2024年度となり、事業完了は2024年度末となる見込みです。
- ・今後、設計段階で詳細な工程計画を検討していきます。

《【配置平面計画（案）】における事業スケジュールと工事エリア》



6 津波時の避難について

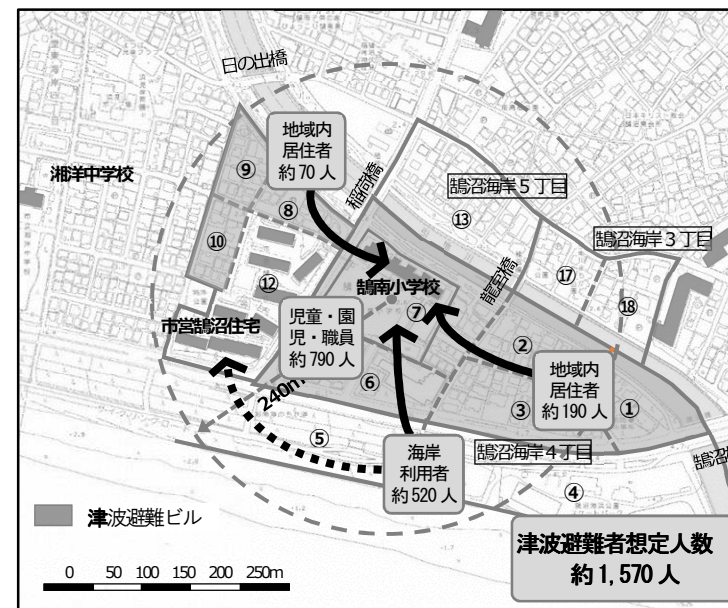
- ・本市への最大クラスの津波第1波到達時間は地震発生後6分とされており、鵠南小学校へ避難可能エリアとしては、相模湾と引地川に挟まれた概ね半径240mの範囲と考えられ、人口の多い昼間の津波避難者の想定人数として、児童・園児・職員約790人、地域内居住者約260人に海岸利用者約520人を加え、約1,570人の津波避難者を受け入れるスペースを3階レベル以上に確保するものとします。

◆想定津波の概要（藤沢市地域防災計画から）

想定地震	相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）
規模	マグニチュード8.7
震度	神奈川県全域で震度7
発生確率	30年以内ほぼ0%
第1波到達	地震発生後6分
最大津波高	8.8m（到達時間8分） ※藤沢海岸
最大浸水面積	4.7km ²
特徴	発生後40分後くらいまで繰り返し押し寄せる。20分後以降は2m前後の津波となる。

※このとき、鵠南小学校付近の浸水深は3.0~4.0mとされています。

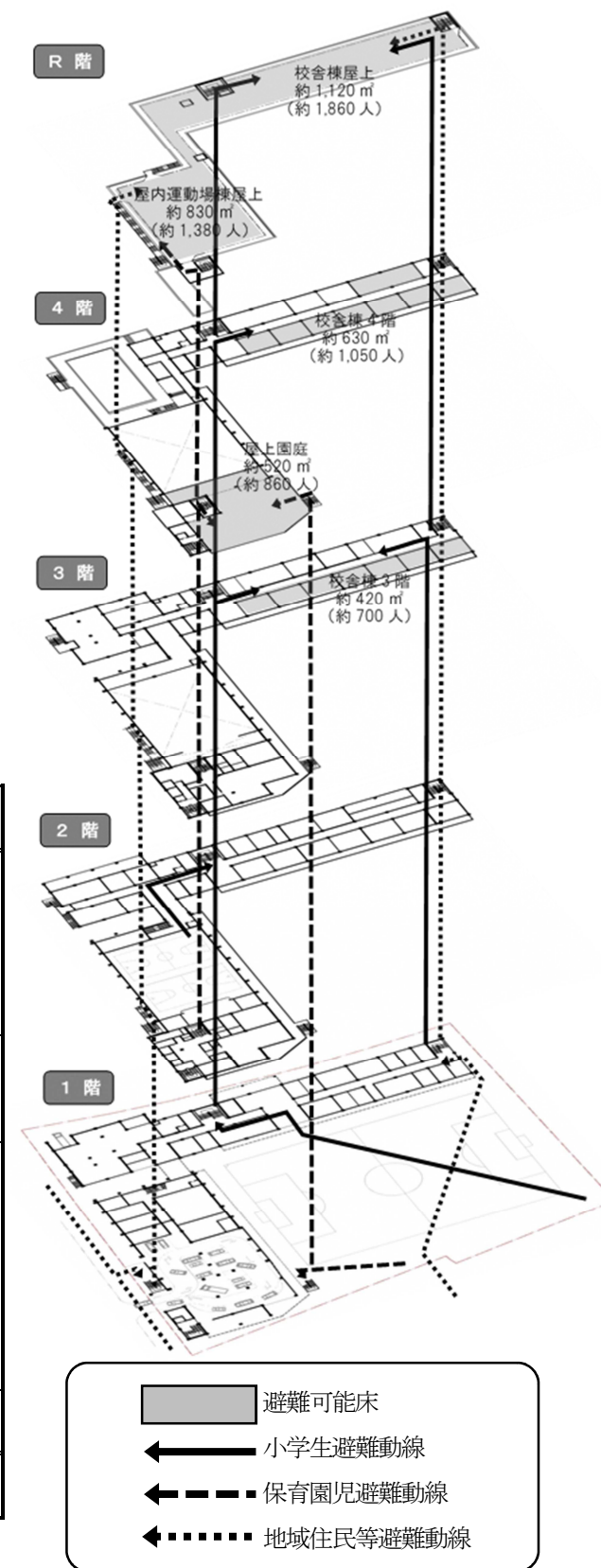
《津波避難者想定人数(昼間)》



- ・津波発生時は、校舎棟及び屋内運動場棟の3階以上が避難床になると考えられますが、校舎棟4階、屋上及び屋内運動場棟屋上の面積を単純に0.6㎡/人で換算すると、約5,150人が避難することが可能となります。

		世帯数	夜間人口	昼間人口【想定】			
鵠沼海岸4丁目	1	29	38	17	185		
	2	44	69	30			
	3	76	135	42			
	6	97	194	76			
	7	26	35	20			
	8	20	45	22			
	9	36	61	27			
	10	20	37	20			
	鵠南小学校	児童	—	0		593	790
		職員	—	0		52	
浜見保育園	園児	—	0	120	25		
	職員	—	0	25			
海岸利用者		—	0	520			
合計		348	614	1,564			

《避難動線イメージ》



事務担当：教育部学校施設課
子ども青少年部子育て企画課・青少年課

六会中学校屋内運動場改築事業に係る基本設計（案）について

六会中学校の屋内運動場は、建築後50年が経過し、老朽化が進行しているとともに、生徒数に対し面積の不足が生じていることから、機能面においても教育活動や学校行事等に支障をきたしている状況があります。これらの施設状況に対し抜本的な対策を講じ、施設の安全性確保と教育環境の整備を図る必要があるため、「第2次藤沢市公共施設再整備プラン」に事業を位置づけ、屋内運動場等の改築を実施し、あわせて避難施設でもある同施設の防災機能の強化を図ることを計画しています。

今年度については、屋内運動場等の改築に向けた基本実施設計業務を設計業者に委託し、作業を進めており、これまで、配置計画にかかる比較検討資料をもとに保護者、学校、地域住民に対し説明会や地域回覧などによる情報提供や意見集約を継続的に行い、これらの意見等を反映させながら検討を進めた結果、基本設計（案）がまとまりましたので報告するものです。

1 基本設計の検討における条件

- ア 安全で快適に学習・運動ができる施設であること
- イ 生徒数に対し、十分なアリーナ面積を有した屋内運動場であること
- ウ 武道場と部室を一体整備すること
- エ 近隣環境、敷地の条件を十分把握し、周辺住環境への影響を考慮した施設であること
- オ 既存の校舎棟との動線を考慮した配置・平面計画とすること
- カ 現況敷地の自然環境を生かした明るく緑に囲まれた施設であること
- キ 施設開放での利用を考慮した施設とすること（開放用玄関、会議室等）
- ク 住民用、学校用、拠点用の防災備蓄倉庫を併設すること

2 配置計画（案）及び基本設計（案）

基本設計の検討における条件を満たすプランとして、設計事務所から3つの配置計画案の提案がありました。この3案について、資料2「配置計画比較表」のとおり、関係者の意見等も含め比較検討しました。

検討結果について、平成29年10月28日（土）に、保護者及び地域住民を対象に説明会を開催し、また、説明会の結果について、回覧により地域住民へ周知しました。

3 今後のスケジュール（予定）

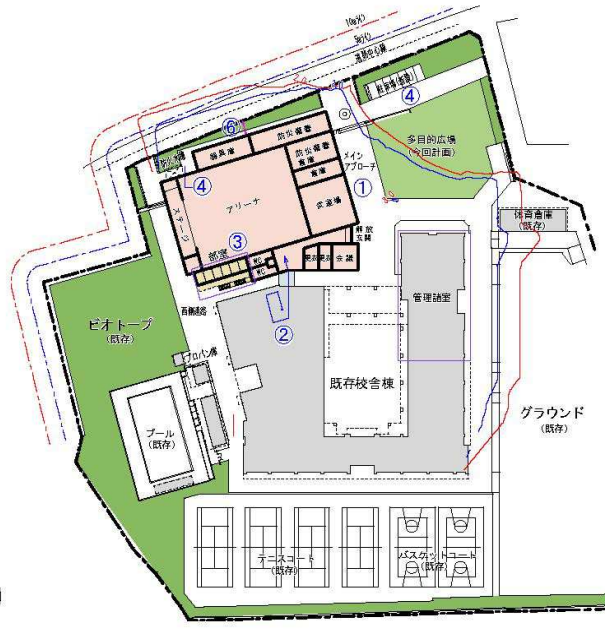
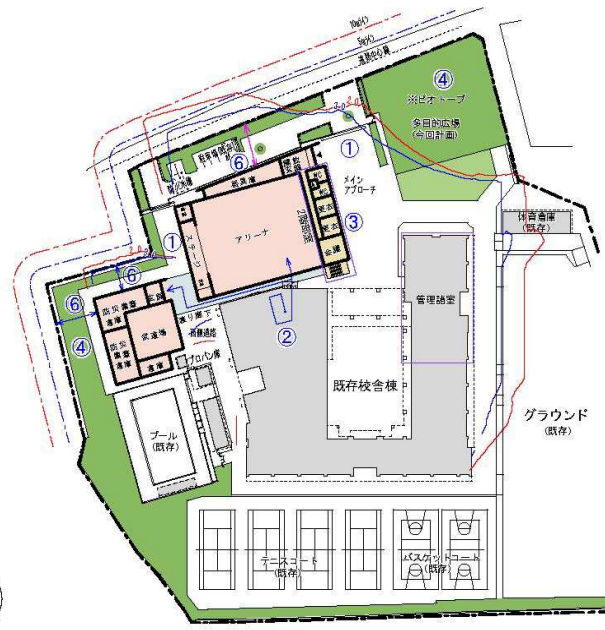
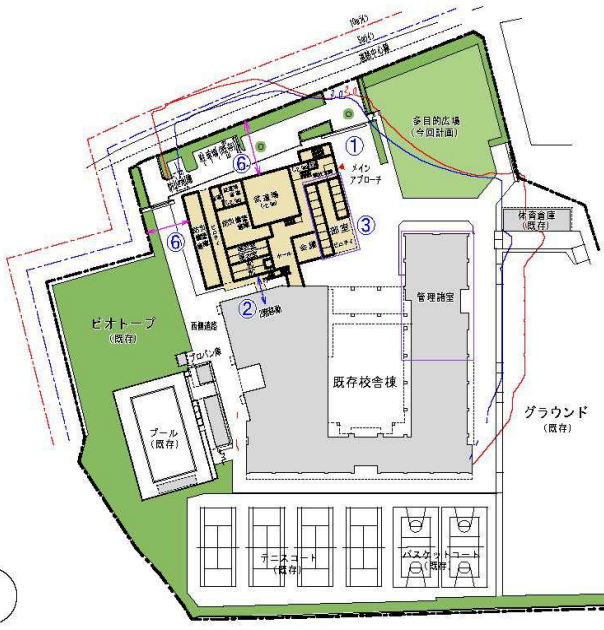
平成30年	2月	藤沢市議会定例会へ本体工事予算（2カ年継続）を上程
同	7月	基本実施設計業務完了
同	8月	屋内運動場本体工事仮契約
同	9月	藤沢市議会定例会へ工事議案を上程
同		議決後、本体工事着手

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
H29				基本設計						実施設計（H30.7まで）			
H30	実施設計					建設工事（1年目）							
H31	建設工事（2年目）												
H32		既存屋内運動場等解体					解体跡地の整備						

以 上

（事務担当：教育部学校施設課）

【配置計画比較表】

	A 案 (平屋建て・集中配置型)	B 案 (平屋建て・分散配置型)	C 案 (2階建て・集中配置型)
計画概要	既存前庭(芝生広場)と北側駐車場の範囲に平屋建て(一部2階)で、1棟にまとめて配置した案。	既存前庭(芝生広場)に屋内運動場棟、既存ビオトープに武道場棟+防災倉庫を配置した案。	既存前庭(芝生広場)に全ての施設を配置した重層案。1階に武道場、防災倉庫、部室、付属施設を配置し、2階に屋内運動場関係施設を配置。
配置計画案	 <p>＜断面イメージ＞</p>	 <p>＜断面イメージ＞</p>	 <p>＜断面イメージ＞</p>
学校運営	<p>①動線(アプローチ) ①建築面積が大きくなるため、メインアプローチが狭くなる。</p> <p>②動線(内部) ②教室(2・3階)から1階まで降りて移動。</p> <p>③部室の管理 ③部室がグラウンドから遠く、管理諸室からも見通せない。</p> <p>④外構整備 ④外構整備範囲が広く、防火水槽や門扉などの再整備が必要</p>	<p>①メインアプローチは広いが、西側通路の歩車分離が難しい。</p> <p>②1階まで降りて利用。別棟の武道場へは、上下足が明確ではない。</p> <p>③メインアプローチに部室が面するため、管理しやすい。</p> <p>④ビオトープの再整備が必要。</p>	<p>①建築面積が小さいため、メインアプローチが広くとれる。</p> <p>②2階の屋内運動場へは、校舎2階から直接移動可能。</p> <p>③メインアプローチに部室が面するため、管理しやすい。</p> <p>④既存外構と同じ配置が可能。</p>
近隣への影響	<p>⑤建物高さ ⑤平屋のため建物高さを抑えた計画が可能。</p> <p>⑥距離(近隣・道路) ⑥北側道路の近くまで建物が配置されるため、圧迫感がある。</p>	<p>⑤平屋のため建物高さを抑えた計画が可能。</p> <p>⑥ビオトープ(既存)に武道場を建設すると、西側住宅に対して騒音や夜間照明に配慮が必要。</p>	<p>⑤2階建てのため、建物高さが既存校舎の最高高さ程度となる。</p> <p>⑥隣地から建物までの距離を離して配置できる。建物は高いが北側道路沿いの樹木は維持可能なため圧迫感は緩和される。</p>
関係者意見	<p>□学校関係者(先生、PTA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が多いため、メインアプローチが狭くなるのは問題。 ・部室が管理諸室から見えない配置は管理上問題がある。 ・現在の芝生広場から張り出すと圧迫感が出るのではないか。 ・前面道路幅も広くないため、駐車場及び通路は残した方がよい。 <p>□地域の方々(自治会連合会、自治会、近隣の方々)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コストが低く抑えられ、使い勝手はよさそうだが、メインアプローチが狭くなるのは問題がある。 ・建物が北側道路付近まで近づくため、部活や一般開放時(休日や夜間使用)の音が気になる。 	<p>□学校関係者(先生、PTA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道場の環境(採光・通風・換気など)が良くない。 ・渡り廊下で車両と生徒の動線が交錯することで安全上の問題がある。 ・ビオトープは部活動(科学部)で活用しているので残してほしい。 <p>□地域の方々(自治会連合会、自治会、近隣の方々)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫と屋内運動場が離れているため、災害時の対応を考慮すると問題がある。 ・建物が分散配置することで、西側住宅を含めて住環境の変化が起きる範囲が大きくなると思う。 	<p>□学校関係者(先生、PTA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺整備が少なく、既存建物への影響も少ない案だと思う。 ・屋内運動場の天井高さは10m(最高高さ)は確保してほしい。 ・既存施設(ビオトープや駐車場)を撤去する必要がなく周辺環境の変化も少ない案だと思う。 <p>□地域の方々(自治会連合会、自治会、近隣の方々)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井の高さが確保できれば、平面的に問題が少ない案だと思う。 ・北側駐車場、ビオトープが現状通りのため、大きく雰囲気は損なわれず、建物も隣地境界線から距離が一番確保できるため好感もてる。
建設コスト	本体工事費 824,900,000円	本体工事費 847,000,000円	本体工事費 937,646,000円
検討結果	<p>生徒動線、開放利用者の動線は短く使いやすい形態。ただし、平屋建てで1棟の計画のため建築面積が大きくなり、外構整備範囲が大きくなる。さらに、北側道路の近くまで建物が配置されるため、近隣住宅への圧迫感や騒音、夜間照明などの影響が大きい。</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>平屋で2棟の計画のため、工事範囲が大きくなり、学校運営に支障が出ない仮設計画を綿密にする必要がある。また、上下足の考え方や車両通行部に生徒動線が交差するなど、学校運営での工夫が必要となる。西側住宅に対して、騒音や夜間照明の影響が出る。</p> <p style="text-align: center;">△</p>	<p>校舎2階と屋内運動場を接続することで、生徒の動線は短く、開放施設はわかりやすい形態となっている。2階建てのため、建物高さは高くなるが建築面積が小さくて、隣地境界線から離して建物を配置できるので、周辺への影響は少ない。</p> <p style="text-align: center;">◎</p>

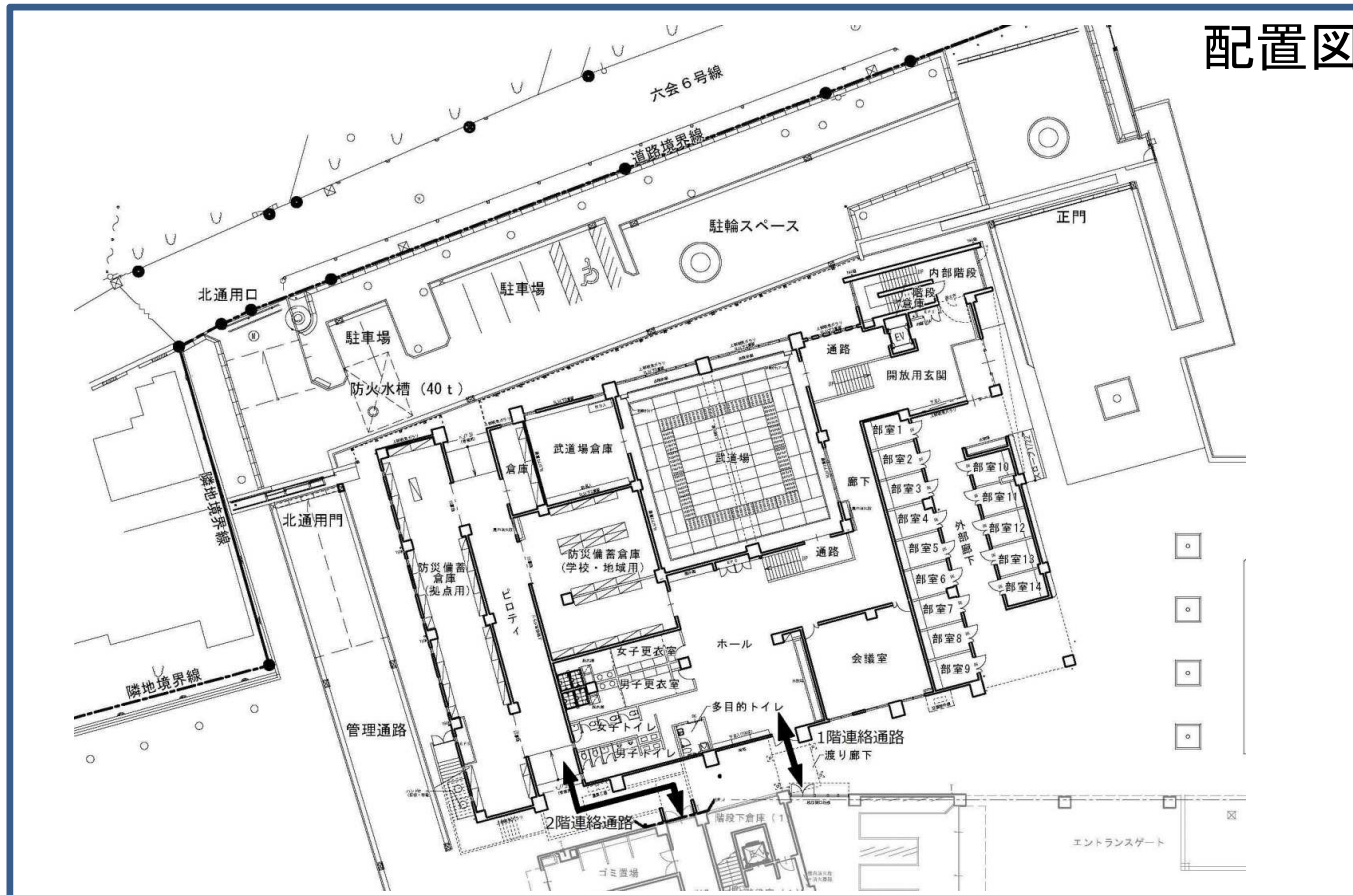
【基本設計(案)】

六会中学校新屋内運動場

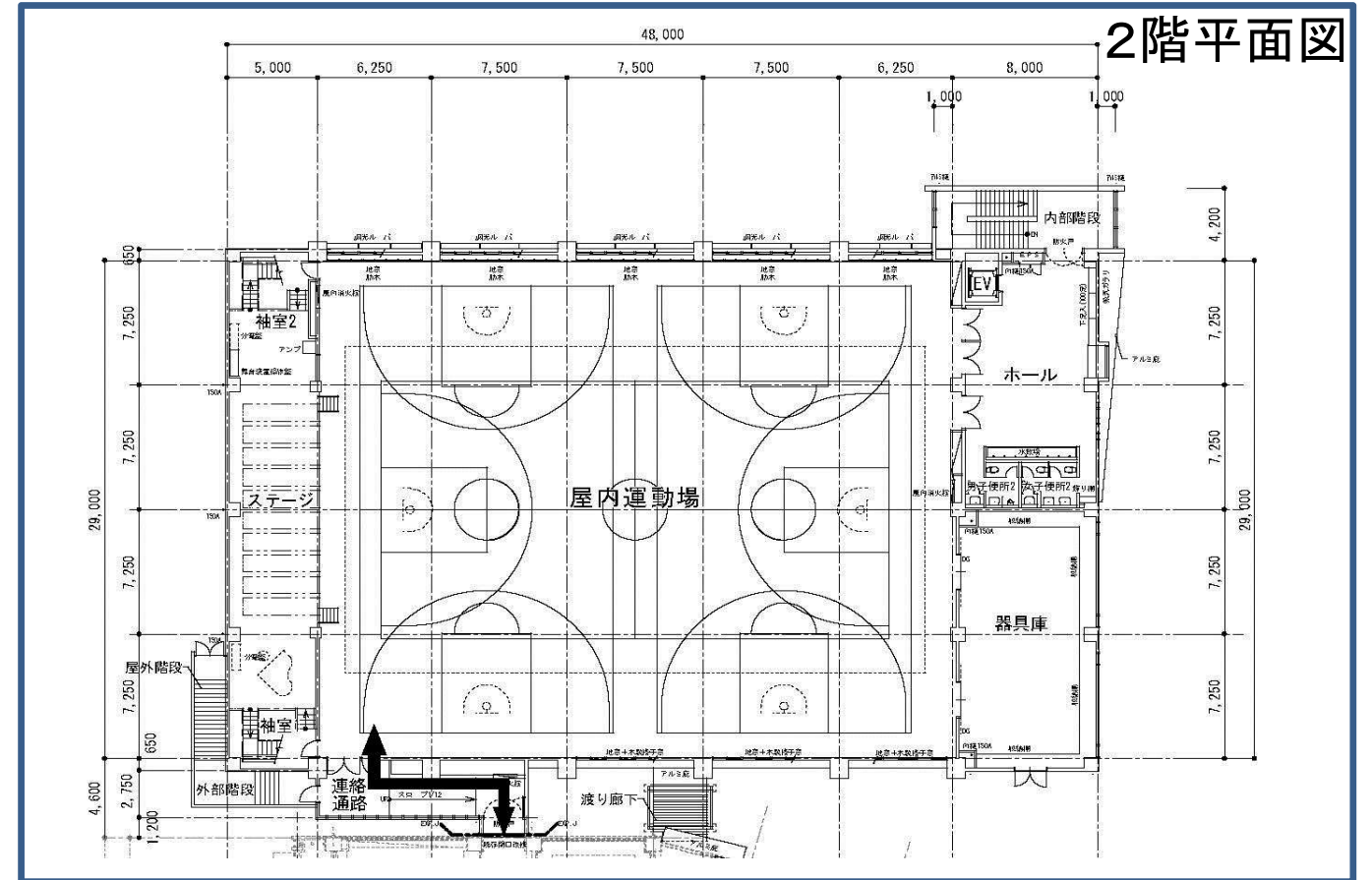
〔階数〕 地上2階建て 〔規模〕 建築面積1527.47㎡、延床面積2948.55㎡

〔諸室〕 屋内運動場アリーナ、武道場、防災備蓄倉庫2(学校・地域用及び拠点用)、部室14、トイレ2(1F・2F)、更衣室、開放用会議室 など

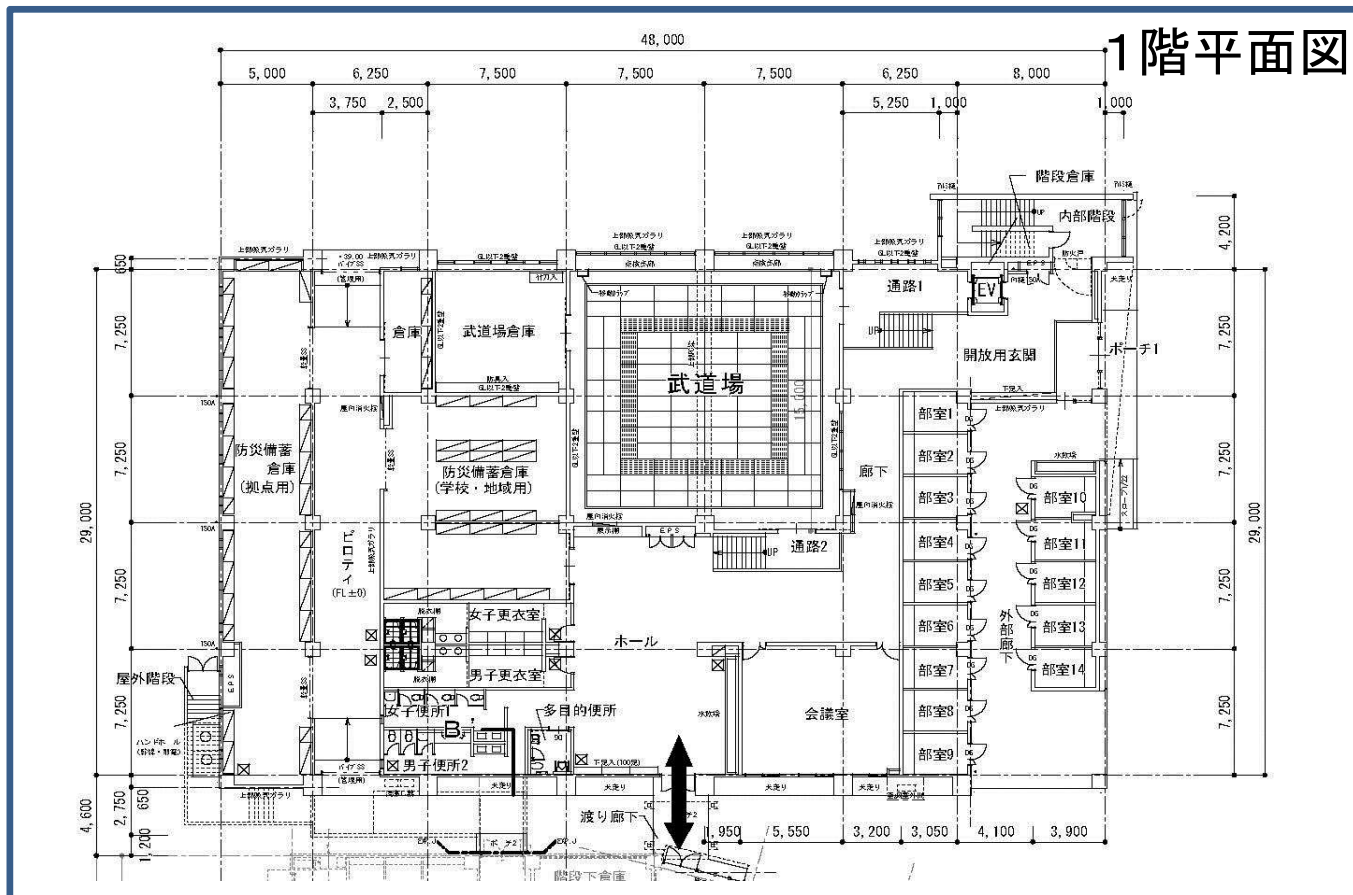
配置図



2階平面図



1階平面図



イメージ図



(事務担当:教育部学校施設課)

代表質問の件名及び要旨

平成30年2月定例会

番号	質問者氏名	件名	要旨
1	佐藤春雄	1 市長の政治姿勢について	(1) 平成30年度の市政運営について
2	柳田秀憲	1 市長の政治姿勢について	(1) 市政運営の総合指針と行財政改革について (2) 文化について (3) 都市計画について (4) 環境について (5) 福祉について (6) 医療について (7) 教育について (8) 平和について
3	武藤正人	1 行財政運営について	(1) 行財政改革について (2) 民間委託事業について
		2 安全で安心な暮らしを築くまちづくりについて	(1) 災害対策の充実について (2) 防犯・交通安全対策の充実について
		3 「2020年」に向けてまちの魅力を創出するまちづくりについて	(1) 2020に向けての課題と対策について (2) 都市の魅力づくりについて
		4 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てるまちづくりについて	(1) 笑顔あふれる学校教育の推進について (2) 子ども・若者への支援の充実について

番号	質問者氏名	件名	要旨
		5 健康で豊かな長寿社会をつくるまちづくりについて	(1) 多様な主体の支援の充実について (2) 健康日本一に向けた取り組みについて (3) 持続的な地域づくりの推進について
		6 都市機能と活力を高めるまちづくりについて	(1) 市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備について (2) SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みについて
4	吉田 淳基	1 市長の政治姿勢について	(1) 持続可能な市政運営について
5	土屋 俊則	1 市長の政治姿勢について	(1) 日本国憲法9条をまもり生かす市政について (2) 核兵器廃絶「宣言」と「条例」を実現する取組について (3) 大型開発や不要不急の道路建設はやめ、公共事業は生活密着型に切り換え、税金は市民の福祉・医療・子育て・教育など暮らし優先に使うことについて (4) 公共施設再整備のあり方について
		2 災害から市民のいのちを守ることについて	(1) 地震・津波対策を市民と共に充実することについて (2) 脱原発を宣言し、自然エネルギーの地産地消をすすめることについて (3) まちづくりと一体に水害対策を抜本的に強化することについて (4) Jアラート訓練について

番号	質問者氏名	件名	要旨
		<p>3 憲法を生かし、市民の福祉、くらしの施策を拡充することについて</p>	<p>(1) 地方自治体の役割は市民の福祉とくらしを守る砦であることについて (2) 国民健康保険料を引き下げることについて (3) 特養ホームの大量建設など介護保険制度の充実を図ることについて (4) 藤沢型地域包括ケアシステムは藤沢市が主体で進めることについて (5) 貧困対策と生活保護行政について</p>
		<p>4 子どもの発達を保障する教育環境整備と子育て支援策の拡充について</p>	<p>(1) 教育環境整備の拡充をすることについて (2) 中学校給食はデリバリー方式をやめ自校方式に切り替えることについて (3) 中学校卒業までの医療費無料化は所得制限をつけるのをやめ、高校卒業まで拡大することについて (4) 安心して預けられる認可保育園増設で待機児童を解消することについて (5) 就学援助制度や給付型奨学金制度を拡充することについて</p>
		<p>5 地域経済の振興のためのまちづくりと地元中小業者対策について</p>	<p>(1) 地方自治体の産業政策とまちづくりについて (2) 「中小企業振興条例」を制定し、市内の商・工・建設業者の営業と暮らしを守るについて (3) 都市農業の振興策を抜本的に強化することについて</p>
6	友田宗也	<p>1 平成30年度における市長の政治姿勢について</p>	<p>(1) 行財政改革の推進について (2) 郷土愛あふれる藤沢づくり～まちづくりテーマ～について</p>

番号	質問者氏名	件名	要旨
7	宮戸 光	1 市長の政治姿勢について	(1) 行政ポテンシャルを活かす市政運営について
8	酒井 信孝	1 財政について	(1) 予算縮減手法について (2) 審議会等の報酬について (3) 総合評価入札方式について (4) 市職員の経験や市が実施するイベントの市民還元について (5) 本庁舎9階フロアの『お湯出し等業務』について
		2 防災について	(1) Jアラート訓練について (2) 津波防災について
		3 横須賀水道道について	(1) 管理責任について (2) 公文書条例の履行について (3) 善行土地問題について
		4 公教育の平等性について	(1) 中学校制服リサイクルについて